



プラスチック汚染問題にニューヨークの小学生が立ち上がる！

マイクロプラスチック・ストーリー

～ぼくらが作る2050年～

マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る2050年～

あらすじ Film Overview

ニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間を追った長編ドキュメンタリー。

ニューヨーク市、ブルックリン区のレッドフック地区は過去に大型台風で影響を受けた、気候変動の最前線にある。そこにある小学校、PS15の5年生は、4年生からの2年間、ニューヨークのNPO、カフェテリア・カルチャーの主導によるプラスチック・フリー特別プログラムでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表したり、自分たちの住む地域で啓発活動を重ねていく。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げて行く。

映画では子供達の素朴な疑問を丁寧に重ねていきながら、専門家がそれに答えて行き、そしてアニメーションをふんだんに使ってこのプラスチック汚染問題を子供から大人までわかりやすく解き明かして行く。子供達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは世界の30の映画祭に選定され、6つの賞を受賞している。

予告編 <https://vimeo.com/466989435>

監督プロフィール Director's Biography

佐竹敦子（英名：Atsuko Satake Quirk） - 共同監督 共同プロデューサー 撮影 編集
環境活動家 ドキュメンタリー映像作家



1966年生まれ。埼玉県さいたま市出身。1993年に広告代理店を辞職して単身渡米、ニューヨークで17年間映画、コマーシャル、テレビ番組などの制作プロデュースに関わる。2007年からボランティアで続けていた食育と環境教育活動が、2010年より本業に。映像作家として環境教育のドキュメンタリー制作も同時に開始する。現在ニューヨークを拠点とするNPO団体カフェテリアカルチャーにてメディアディレクターをつとめながら、合衆国環境保護庁やニューヨーク市教育委員会と密接に活動、ビデオ制作と実際公立の小中学校に出向いての環境教育を行っている。

主な作品に「School Lunch in Japan - It's Not Just About Eating」（YouTubeで2,700万回再生）また東京都制作の海ごみをテーマにした短編ムービー(2017)、そして海ゴミをテーマにした短編ドキュメンタリー「みんなの海だから」(2013)が8つの映画祭に入選、NY市国際映画祭での最優秀短編ドキュメンタリーを受賞した他、コスタリカ、インドの映画祭でも受賞を果たしている。

ニューヨーク市マンハッタン在住。2児の母。日本大学芸術学部放送学科卒業。

佐竹のプロフサイト：www.atsukoquirk.com

デビーリー・コーヘン（Debby Lee Cohen） - 共同監督 共同プロデューサー
環境活動家 マルチアーティスト



アメリカのボルチモア市出身。マイクロプラスチック・ストーリーの製作を手がけたNPO団体、カフェテリア・カルチャー創始者であり代表を務める。アメリカのケーブルチャンネルHBOの家族向け番組部門で25年間アートディレクター兼セグメントのプロデューサーとして番組制作

に関わる。代表作には「SAVING MY TOMORROW」「CLASSICAL BABY」。また2m, 3m という大型の操り人形のデザインと制作、アニメーション制作、演劇の舞台デザインなどマルチアーティストとしてニューヨークを中心に活躍していたが、2009年に娘の発言「発泡スチロールの給食トレーは気候変動に寄与するから明日から給食を食べない」で環境活動をはじめ。2010年にはカフェテリア・カルチャーの前身「Styrofoam Out of Schools」を立ち上げ、ニューヨーク市だけでなくアメリカ10都市で給食で使用する発泡スチロールトレー廃止に導いた。マンハッタン区長から環境活動への表彰を受ける他、マンハッタン廃棄物処理諮問委員会の役員も兼務している。



カフェテリア・カルチャーについて About Cafeteria Culture

マイクロプラスチック・ストーリーをプロデュースしたカフェテリア・カルチャーはニューヨーク市を拠点とする非営利の環境教育団体で、2009年にStyrofoam Out of Schoolsとして創設され、ニューヨーク市の学校給食で使用されていた発泡スチロールのトレー廃止を主導した。それが全米10都市での廃止に繋がり、現在約年間5億枚の発泡スチロールトレーが堆肥化できるトレーに変わっている。

団体ではニューヨーク市内の公立小中学校での環境教育プログラムを活動基盤とし、常に学校を拠点とした政策提言活動やプラスチック削減のキャンペーンを行なっている。環境教育プログラムは、シェルターや市営住宅に住む生徒が多く、また人種的にもアフリカ系アメリカ人やヒスパニック、ラテン系の多い学校で行われている。常に、科学とデータに基づいた問題解決策を生徒たち自身でデザインして行くこと、メディアやアート、ビジュアルを駆使してメッセージを伝えて行くことをモットーに、子供達が環境問題だけでなく様々な社会問題に対する自分たちの声を発信し、アクションを起こすスキルを身につけるためのプログラムを提供している。

カフェテリア・カルチャーは2015年、北アメリカ環境教育協会主催のUL Innovative Education Award for advancing environmental STEM education で北米で5団体にしか与えられない優秀賞を受賞。また2013年にはアメリカ環境保護庁の Environmental Quality Award を受賞している。

ウェブサイト：<http://www.cafeteriaculture.org/>



プレスお問い合わせ PRESS CONTACTS

佐竹敦子 Atsuko Quirk - atsuko@cafeteriaculture.org

US 917-287-6387

LINKS & SOCIAL MEDIA

Movie Website <http://www.cafeteriaculture.org/japan-microplastic-madness.html>

Trailer 16:9 aspect ratio 70 seconds <https://vimeo.com/466989435>

Twitter @CafeteriaCu

Instagram @cafcu

Facebook [Cafeteria Culture \(CafCu\) / Styrofoam Out of Schools \(SOS\)](#)

作品情報 MOVIE INFORMATION

2019年 / アメリカ / 76分 / カラー

ジャンル 長編ドキュメンタリー

言語 英語 日本語版字幕 (字幕版は他にドイツ語とスペイン語があります)

Format 1920x1080, 60fps, Stereo (DCP upon request)



Images courtesy of Lisa Erdle, Rochman Lab

パブリシティ用の写真などは直接 atsuko@cafeteriaculture.org にメールでお問い合わせください。

受賞 AWARDS

最優秀ドキュメンタリー	Raw Science 映画祭 (カリフォルニア州ロサンゼルス)
最優秀審査員賞	グリーンポイント映画祭 (ニューヨーク州ブルックリン)
最優秀長編ドキュメンタリー(観客投票)	プロビデンス子供映画祭 (ロードアイランド州プロビデンス)
最優秀長編ドキュメンタリー	シアトル子供映画祭 (ワシントン州シアトル)
最優秀ソリューション賞	シネマヴェルデ環境映画祭 (フロリダ州ゲインズビル)
ペギー・シャレード優秀賞	ボストン国際子供映画祭 (マサチューセッツ州ボストン)

スタッフ

監督・プロデューサー	佐竹敦子 & デビーリー・コーヘン
撮影・編集	佐竹敦子
撮影2カメ	ダニエル・ラモス
アニメーション	デビーリー・コーヘン & ダニエル・ラモス
学校プログラム運営	ロンダ・カイザー
カリキュラム制作	レイナ・グリーンバーグ
制作アシスタント	マジョリー・デューバー

キャスト

ニューヨーク市立PS15小学校 5年生の皆さん、先生と職員の皆さん

出演している専門家

[Judith Enck](#) - ジュディス・エンク 元アメリカ環境保護庁地域長官

[Chelsea M. Rochman](#) - チェルシー・ロックマン トロント大学准教授、生態毒性学者

[Marcus Eriksen](#) - マーカス・エリクセン ファイブジャイヤ創業者、環境科学者

観客コメント

この映画の監督の佐竹敦子とデビーリーは、若い生徒たちが素晴らしい科学と教育の力で目標に向かって邁進する作品を作り上げた。これが環境問題の根っこを正す、新しい世代のアクティビズムだ。私たちの環境が地域の格差なく公平に守られるべきであることを360度全ての角度から掘り下げる。そしてそれが5年生の熱意のこもった視点で最新の情報とともに語られている。

[RAW SCIENCE FILM FESTIVAL](#)

海洋プラスチック汚染が世界的な問題となる中で、子供たちが自分たちの足でデータを集め、そして社会を動かしていく様は圧巻。ネットを活用した授業も、こんなことまで出来るのか！と驚きの連続でした。

大阪商業大学公共学部准教授、NPO法人プロジェクト保津川代表理事 [原田禎夫](#)

海のプラスチックごみの根本解決に向かう子どもたちの生の声で伝えられる映像は強く心に響きました！制度をも変えようとするその行動力に大きな拍手。私たちも頑張らねば！
[全国川ごみネットワーク事務局](#) [伊藤浩子](#)